

(三) 眼紅的時刻~ A-ku / 阿丁 / Nana、阿道(A-dao)

1、認識阿丁~與小朋友會晤(對人的評價 吃味 / 接納 / 肯定)。

A-ku 看到阿丁和一位小朋友迎面走來，於是上前招呼。

【A1-7】

A-ku は丁が男の子と一緒にいるのを見て、声をかける。

<p>A-ku：嗨，阿丁！ 阿丁：嗨，A-ku！這位小朋友叫阿道。 阿道：你好，我叫阿道，我是阿丁的學生。 A-ku：學生？ 阿丁：我是山地服務團的團員，透過網路教山地小朋友功課。 阿道：阿丁哥哥好棒，什麼都會喔！ 阿丁：是阿道肯學！ A-ku：是誰送你來學校的？ 阿道：學校的哥哥姐姐幫忙的。 阿丁：爲了紀念課業輔導一週年，今天特別請小朋友來台北。 A-ku：所以，今天是你們第一次見面？ 阿道：是啊！也是我第一次來台北。我帶了山上最美的石頭，來送給哥哥     做紀念。 阿丁：其實，我學到的比較多。     小朋友在音樂、藝術方面的天份，真是太精采了。你看，這顆石頭，就像     一片真的葉子一樣。 阿道：阿丁哥哥才棒呢！他做的多媒體教材好好看喔！ A-ku：你們多久上一次課？ 阿道：每天啊！我在 MSN 上隨時都可以找到阿丁哥哥啊！ A-ku：沒想到你這麼厲害！（向阿丁伸手一握） 阿丁：哪裡，我才要感謝小朋友呢！有他們，我才體會到學生的需求是什麼。</p>	<p>A-ku：「こんにちは。」 丁：「やあ、A-ku、この子は道ちゃんです。」 道：「こんにちは。道です。デオン兄ちゃんの生徒です。」 A-ku：「生徒って？」 丁：「僕は台湾原住民ふれあい会の会員で、ネットで原住民の子供たちの家庭教師をやっているんだ。」 道：「デオン兄ちゃんはすごいよ。何でもできるんだ。」 丁：「道ちゃんも頑張ってるよ。」 A-ku：「今日は誰と来たの？」 道：「学校の人たちに連れてきてもらったの。」 丁：「家庭教師をはじめてちょうど一年になるんで、台北へ子供たちを連れてきたんだ。」 A-ku：「ってことは、二人は今日、初めて会うの？」 道：「そうだよ。僕、台北に来たのは初めて。山できれいな石をみつけたから、おみやげに持ってきたんだ。」 丁：「僕もいろいろと勉強になってるんだ。子供たちは音楽とか芸術とか、すごく才能があるんだよ。この石なんか本物の葉っぱみたいだろ？」 道：「デオン兄ちゃんの方がすごいよ。お手製のマルチメディア教材、すごく面白かったよ。」 A-ku：「授業って、一週間に何回くらい？」 道：「毎日だよ。MSN でいつでもデオン兄ちゃんと話せるもん。」 A-ku：「すごいね。感動したよ。」（丁の手をとって握手する） 丁：「いや、こちらこそありがたいと思ってるんだ。この子達のおかげで、生徒の気持ちが分かるようになってきたよ。」</p>
---	---

<p>A-ku：我來幫忙你們拍幾張照片好嗎？(拍照) 阿道：A-ku 哥哥，照片記得寄給我喔！</p>	<p>A-ku：「写真、撮ろうか？」(写真を撮る) 道：「A-ku 兄ちゃん、僕に写真、送ってね。」</p>
---	--

